

公益財団法人 アイヌ民族文化財団とは…

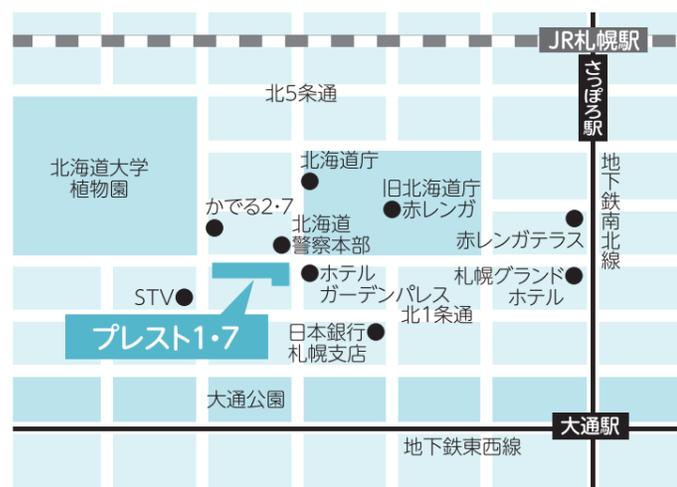
当財団は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発を図るための施策の推進のほか、民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)の運営を行っています。

多様な価値観が共生し、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の一層の発展に寄与するため、国内外においてさまざまな事業を実施しています。



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171
FAX.(011)271-4181
e-mail:ainu@ff-ainu.or.jp
URL <https://www.ff-ainu.or.jp>



アイヌ文化交流センター

〒111-0041
東京都台東区元浅草3丁目7番1号
住友不動産上野御徒町ビル3階
TEL.(03)5830-7547
FAX.(03)5830-7548
e-mail:acc-tokyo@ff-ainu.or.jp



[非売品] 転売禁止

令和6年度 アイヌ語ラジオ講座 Ainu radio course

Vol.
2

7月 ▶ 9月

おかもと ともや

<講師> 岡本 朋也

STV ラジオ

毎週日曜日 朝7:00 ~ 7:15

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/>



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリン(樺太)や千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも「エトピリカ」「ラッコ」「ケイマフリ」など、アイヌ語由来として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、日常会話の言語として使われることが少なく、知っている単語も会話の中に稀に聞かれるだけです。それでも先祖から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成10年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

令和6年度の講師は様似町にルーツがあり、平取町在住の岡本朋也さんをお迎えして、アイヌ語の「様似方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

2024年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.2

目次

テキストは3ヶ月ごとに発行しています。

講師・支援研究者の紹介	p. 2
講座のスケジュール	p. 3
レッスン 14～26	p. 4
ポッドキャストのお知らせ	p.30
賛助会員募集	p.33

令和6年度

アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course

Vol.
2

7月 ▶ 9月

おかもと ともや

<講師> 岡本 朋也

講師・執筆者紹介



おか もと とも や
岡本 朋也

浦河町生まれ、様似のアイヌにルーツがある。

伝承者育成事業第5期修了生。

現在は平取町地域おこし協力隊アイヌ工芸支援員として、日々木彫りの技術を学んでいる。

2021年アイヌ語弁論大会イタカンロー 最優秀賞受賞。

2024年第57回北海道アイヌ伝統工芸展 最優秀賞(北海道知事賞)受賞。

協力者

はら だ けい すけ
原田 啓介

(株)平取町アイヌ文化振興公社勤務

札幌大学ウレシパクラブ第6期卒業生

平取町二風谷アイヌ語教室子どもの部所属

(支援研究者 なか がわ ひろし 中川 裕 千葉大学文学部名誉教授)

<このテキストのアイヌ語と表記の仕方について>

現在のところアイヌ語には共通的な表現はあるものの、それぞれの地域での言い方があります。そのため、このテキストでは担当講師の方言(様似方言)でのアイヌ語をご紹介します。

スケジュール

月	日	Lesson	テーマ	ページ
7月	7日	14	疑問の表現④ タンペネッタアン? / tanpe nep ta an?	4
	14日	15	自然の薬のはなし①	6
	21日	16	自然の薬のはなし②	8
	28日	17	7月の復習	10
8月	4日	18	〇〇を〇〇しよう!の表現	12
	11日	19	否定の表現	14
	18日	20	海藻のはなし	16
	25日	21	8月の復習	18
9月	1日	22	所有の表現① クテケへ、エテケへ / ku=tekehe, e=tekehe	20
	8日	23	所有の表現② クコロアチャ、エコロハポ / ku=kor aca, e=kor hapo	22
	15日	24	木彫りにつかう樹木のはなし①	24
	22日	25	木彫りにつかう樹木のはなし②	26
	29日	26	9月の復習	28



Lesson14 疑問の表現④

タンペ ネフ タ アン?

tanpe nep ta an?

今日の例文

- ① タンペ ネフ タ アン? これはなんですか?
tanpe nep ta an?

- ② タンペ イタ ネ。 これはお盆です。
tanpe ita ne.

- ③ タンペ テクンペ ネ ヤ? これは手甲ですか?
tanpe tekunpe ne ya?

- ④ ヘンネ。タンペ マタンプシ ネ。 いいえ。これは鉢巻です。
henne. tanpe matanpusi ne.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
タンペ	tanpe	これ、このもの
ネフ	nep	何
タ	ta	強調
アン	an	ある、いる (自動詞: 単)
イタ	ita	お盆
ネ	ne	~である (他動詞)
テクンペ	tekunpe	手甲
ヤ	ya	~か、~でしょうか
ヘンネ	henne	いいえ、~でない、~しない
マタンプシ	matanpusi	鉢巻

解説

「これはなんですか?」というアイヌ語は、様似方言では、「タンペ ネフ タ アン?」と言います。「なに」という疑問詞は、ほとんどの地域が、【ネフ / nep】を使いますが、沙流、千歳などでは、【ヘマンタ / hemanta】を使います。「である」というのは【ネ / ne】で表しますので、「なんである」というのは「ネフネ?」となりそうなものですが、【アン / an】「ある」を使って、「ネフアン」と言い、さらにそこにもともととは強調を表わす【タ / ta】をはさんで「ネフタアン?」とします。ただしこの場合「タ」には強調の意味はほとんど無いので、そういう決まった言い方だと思って覚えてください。

否定の表現では、【ヘンネ / henne】という言葉を使います。ほとんどの地域では否定の表現は、【ソモ / somo】を使いますが、様似、浦河、静内では、「ヘンネ」を使います。この課では、「いいえ」という返事の言い方として「ヘンネ」が出てきますが、「~しない」の「ない」の意味を表わすのにも、この「ヘンネ」を使います。詳しくは、レッスン 19 否定の表現で解説します。

イタとは、木製の平たいお盆状のものです。表面に思い思いの文様を彫刻刀で施していきます。テクンペとは、手甲のことで山に入る際に手を守ってくれました。

マタンプシは、今は女性もよく頭に締めていますが、元々は男性が狩りに行く際に着用していたものです。テクンペもマタンプシもアイヌ文様が刺繍されていて、女性から男性へ贈られるものです。

コラム ~岡田のチセ~

様似町岡田地区には、1棟のチセが建っています。私が小学生低学年くらいの時に様似の保存会の皆さんで建てた記憶があります。保存会会員でカヤ刈りをして建てていました。私も低学年でなにもできないながら、薪割りやカヤを運ぶ手伝いをした覚えがあります。今となってはいい思い出です。ぜひ様似にお越しの際は立ち寄ってみてください。



Lesson15

自然の薬のはなし①

今日の例文

- ① ハポ、クオムケカン ルウェ ネ。 お母さん、風邪を引いてしまったよ。
hapo,ku=omkekar ruwe ne.
- ② ヤクン タンペ ク ヤン。 じゃあこれを飲みなさい。
yakun tanpe ku yan.
- ③ タンペ エク コ ナニ エトテク。 これを飲むとすぐに治るよ。
tanpe e=ku ko nani e=totek.
- ④ ソンノ シウ フミ！ とっても苦いなあ。
sonno siw humi!

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ハポ	hapo	お母さん
ク	ku=	わたし(が、の)
オムケカラ (>オムケカン)	omkekar	風邪を引く(自動詞)
ルウェ ネ	ruwe ne	事実を表す表現
ヤクン	yakun	それなら、じゃあ
タンペ	tanpe	これ
ク	ku	～を飲む(他動詞)
ヤン	yan	しなさい
エ	e=	あなた、君、お前(が、の)
コ	ko	～すると
ナニ	nani	すぐに
トテク	totek	治る、元気である(自動詞)
ソンノ	sonno	本当に
シウ	siw	苦い(自動詞)
フミ	humi	味、匂いなどを表す表現

解説

小さいカナのラ行音、ローマ字ではrで終わる音は、ラ行音、つまりrの前ではンと発音されます。そこで、【クオムケカラ ルウェ ネ / ku=omkekar ruwe ne】(私は風邪をひいた)は「クオムケカン ルウェ ネ」と発音されることになります。

音や匂いや味、そして体で感じる感覚などを、感情を含めて表現する時には、最後に【フミ / humi】という言葉を加えます。ここでは味がとても苦いことを表すのに、「ソンノ シウ フミ」(本当に苦い感じ)と言っています。とてもおいしい場合には、【ケラン / keran】(おいしい)を使って、「ソンノ ケラン フミ！」と言えばよいでしょう。

また【ヤン / yan】は文の最後に置いて、命令を表わす言葉です。レッスン2で出てきた「ピリカノ パイエ ヤン」(無事にお帰りください)の「ヤン」もこれです。ただし、レッスン2では「ヤンは複数形としか使えない」と言いました。では「タンペ ク ヤン」(これを飲みなさい)の【ク / ku】(飲む)は複数形なのかというと、実は「ク」には単数形と複数形の区別はありません。というか、単数形と複数形がある動詞はごくわずかです。大部分の動詞にはその区別はありません。「ヤン」をつけたら複数の人に対する命令の意味になります。レッスン2で説明したようにひとりの相手に対して言う時には、丁寧な言い方ということにもなります。

文と文をつなぐ言葉を接続助詞と言います。今回は、「～すると」という意味の【コ / ko】や、「それなら、じゃあ」という意味の【ヤクン / yakun】が出てきました。「ヤクン」は、「～するなら」という意味もあります。他にもたくさんの接続助詞があるので覚えていきましょう。

風邪に効く植物は、ナツハゼという植物を煎じて飲むといいようです。方言でオトコヤマと言うそうです。他にもヨモギを茎ごと鍋に入れてその湯気を吸い込むことでたくさん汗をかき、風邪が治るようです。ヨモギはお祓いに使ったり、ニオイによって悪いものが近寄って来ないと言われていて、村の入り口に置いたり、たくさんの役割があった、特別な植物です。

自然の薬の話は、熊谷カネさんが『岡本ユミの伝承』という本を出版したので、それを参照しています。



コラム ～キハダの実～

キハダの実は、シコロなどとも言い、アイヌ語では、【シケレペ / sikerpe】と言います。胃が悪い時には実を煮て、その汁が胃薬として使われていました。実は、料理に入れて食べます。

【ラタシケナ / rataskep】という混ぜ煮に入れて食べました。アイヌ民族文化財団の「アイヌ語動画講座」というYouTubeチャンネルで、熊谷カネさんとラタシケナを作る動画があるので、ぜひご覧ください。



Lesson17

7月の復習

Lesson14の例文

- ① タンペ ネッ タ アン? これはなんですか?
tanpe nep ta an?
- ② タンペ イタ ネ。 これはお盆です。
tanpe ita ne.
- ③ タンペ テクンペ ネ ヤ? これは手甲ですか?
tanpe tekunpe ne ya?
- ④ ヘンネ。タンペ マタンプシ ネ。 いいえ。これは鉢巻です。
henne. tanpe matanpusi ne.

Lesson15の例文

- ① ハポ、クオムケカン ルウェ ネ。 お母さん、風邪を引いてしまったよ。
hapo,ku=omkekar ruwe ne.
- ② ヤクン タンペ ク ヤン。 じゃあこれを飲みなさい。
yakun tanpe ku yan.
- ③ タンペ エク コ ナニ エトテク。 これを飲むとすぐに治るよ。
tanpe e=ku ko nani e=totek.
- ④ ソンノ シウ フミ! とっても苦いなあ。
sonno siw humi!

Lesson16の例文

- ① アチャ、サルカニ アン ナ。 お父さん、サルカニがいるよ。
aca, sarukani an na.
- ② サルカニ アナク アンコロ イタク アリ
ホロカレイエフ アリ アンイエ プネ。
sarukani anak an=kor itak ari
horkareyep ari an=ye p ne. サルカニはアイヌ語でホロカレイエフ
(ザリガニ) というものだよ。
- ③ オハイネ。 なるほど。
ohayne.
- ④ クスリ ネ カイ アンエイワンケ プネ。 薬にも使うものだよ。
kusuri ne kay an=eivanke p ne.

Lesson14の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
タンペ	tanpe	これ、このもの
ネフ	nep	何
タ	ta	強調
アン	an	ある、いる (自動詞: 単)
イタ	ita	お盆
ネ	ne	~である (他動詞)
テクンペ	tekunpe	手甲
ヤ	ya	~か、~でしょうか
ヘンネ	henne	いいえ、~でない、~しない
マタンプシ	matanpusi	鉢巻

Lesson15の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
ハポ	hapo	お母さん
ク	ku=	わたし (が、の)
オムケカラ (>オムケカン)	omkekar	風邪を引く (自動詞)
ルウェ ネ	ruwe ne	事実を表す表現
ヤクン	yakun	それなら、じゃあ
タンペ	tanpe	これ
ク	ku	~を飲む (他動詞)
ヤン	yan	しなさい
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
コ	ko	~すると
ナニ	nani	すぐに
トテク	totek	治る、元気である (自動詞)
ソンノ	sonno	本当に
シウ	siw	苦い (自動詞)
フミ	humi	味、匂いなどを表す表現

Lesson16の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)	
アチャ	aca	お父さん
アン	an	ある、いる (自動詞: 単)
ナ	na	よ
アナク	anak	~は
アンコロ イタク	an=kor itak	アイヌ語
アリ	ari	~で、~を用いて
ホロカレイエフ	horkareyep	ザリガニ
アリ	ari	~と
アン	an=	人々 (が、の)
イエ	ye	~を言う (他動詞)
プ	p	もの
ネ	ne	~である、~になる (他動詞)
オハイネ	ohayne	なるほど
クスリ	kusuri	薬
ネ	ne	~として
カイ	kay	も
エイワンケ	eivanke	~を使う (他動詞)



Lesson18

〇〇を〇〇しよう！の表現

今日の例文

- ① タント シト アンカン ノ。 今日(今日は)シトを作(作り)ましよう。
tanto sito an=kar no.
- ② ピリカ ワ。 いいね。
pirka wa.
- ③ ポロンノ スイエ チク ピリカ。 たくさんゆでなさい。
poronno suye cik pirka.
- ④ ウトゥラノ シト アンエ ノ。 一緒にシトを食(食べ)ましよう。
uturano sito an=e no.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
タント	tanto	今日
シト	sito	シト (団子)
アン	an=	私たち (が、の)
カラ (>カン)	kar	~を作る (他動詞)
ノ	no	~しよう
ピリカ	pirka	良い、美しい、素晴らしい (自動詞)
ワ	wa	~よ
ポロンノ	poronno	たくさん
スイエ	suye	~を煮る、~をゆでる (他動詞)
チク	cik	~すれば

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ウトゥラノ	uturano	一緒に
エ	e	~を食べる (他動詞)

解説

今回は、〇〇を〇〇しよう！という表現です。レッスン2では「またお会いしましょう」という意味の「スイ ウヌカラノ」を紹介しました。レッスン7でも「行きましよう」という意味の「パイエアン ノ」を勉強しました。【ウヌカラ / unukar】「会う」や【パイエ / paye】のような自動詞は、「私たちが」という意味の【アン / =an】を後ろにつけて、最後に【ノ / no】をつけることによって、「〇〇しましよう」という意味になります。

〇〇を〇〇しよう！という時には、他動詞を使います。【カラ / kar】(~を作る)や【スイエ / suye】(~をゆでる)や【エ / e】(~を食べる)はみんな他動詞です。他動詞の場合は、動詞の前に【アン / an=】をつけて、最後に【ノ / no】をつけます。自動詞と他動詞で「アン」の位置が逆になるわけですね。

なお、小さいカナのラ行音、ローマ字ではrで終わる音は、ナ行音、つまりnの前ではンと発音されます。そこで、【アンカラノ / an=kar no】(作りましよう)は「アンカン ノ」と発音されることとなります。

今回は【シト / sito】を作ったり、ゆでたり、食べたりしました。「シト」はお祭りの時などに、おもにお米で(お米以外のものもありますが)作るお団子です。団子といっても、円盤状の平たいもので、様似では昆布で作ったたれをつけて食べたりします。

今回は「チク ピリカ」という表現も出てきました。【チク / cik】は「~すれば」、【ピリカ / pirka】は「良い」という意味ですので、直訳すると「~すれば良い」ということとなりますが、これで「~しなさい」という、ちょっとやわらかい感じで命令するような意味になります。沙流方言などでは、「チク ピリカ」の代わりに、【ヤク ピリカ / yak pirka】という言い方になります。



コラム ~アイヌの遊び~

アイヌの子ども達は、遊びの中で狩りの練習や、生活の知恵を学んでいました。遊びでは、輪突き遊びや小さな弓矢で遊んでいました。思い返せば、私も小さい時に父に小さな弓矢を作ってもらって遊んでいました。



Lesson19

否定の表現

今日の例文

- ① トペンペ ヘンネ クエ。 私はお菓子を食べません。
topenpe henne ku=e.
- ② トペンペ クエ カ ヘンネ キ。 私はお菓子を食べません。
topenpe ku=e ka henne ki.
- ③ トノト ヘンネ エク コ ピリカ。 君はお酒を飲まなければよかった。
tonoto henne e=ku ko pirka.
- ④ トノト エク カ ヘンネ キ ヤ? 君はお酒を飲みませんか?
tonoto e=ku ka henne ki ya?

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
トペンペ	topenpe	お菓子
ヘンネ	henne	～ない (否定)
ク	ku=	私 (が、の)
エ	e	～を食べる (他動詞)
カ ヘンネ キ	ka henne ki	～ない (否定)
トノト	tonoto	酒
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
ク	ku	～を飲む (他動詞)
コ	ko	～すれば
ピリカ	pirka	良い (自動詞)

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ヤ	ya	～か?

解説

今回は、否定の表現を紹介します。

レッスン14では、「いいえ」という返事として、【ヘンネ / henne】という言い方を紹介しました。この「ヘンネ」を使って否定文を作りますが、否定の表現には2つあり、動詞の前に「ヘンネ」を付けるやり方と、動詞の後に【カ ヘンネ キ / ka henne ki】を付けるやり方があります。この「ヘンネ」は様似、浦河、静内という日高地方の東側で特徴的に使われる否定の言葉で、他の地域では【ソモ / somo】【カ ソモ キ / ka somo ki】を使います。

アイヌ語の語順は日本語とほとんど同じですが、この「～しない」という言い方だけ、「ない」にあたる「ヘンネ」が動詞の前に来るのが、日本語と違うところです。

【～コ ピリカ / ko pirka】は「～すればよい」という意味ですが、「ヘンネ」をつけて、「ヘンネ ～コ ピリカ」とすると、「～しなければよかった」という意味になります。「トノト ヘンネ エク コ ピリカ」(君はお酒を飲まなければよかった)を「私」に置き換えて、「トノト ヘンネ クク コピリカ」とすると、使える場面が多くなりそうですね。

「～カ ヘンネ キ ヤ」は、疑問のヤをつけて、「～しないか?」と訊く形です。「トノト エク カ ヘンネ キ ヤ?」と言っても、「トノト ヘンネ エク ヤ?」と言っても、同じ意味になります。



コラム ～鹿の舌～

岡本総吉エカシは、一度だけ鹿の舌を煮ているところを熊谷カネさんは、見たことがあります。その時に、舌を口にくわえて、「ワイヨー」と鹿の鳴き真似をしたそうです。その後、マキリで一口サイズに切って食べたそうです。しかしなぜ、舌を口にくわえて、鹿の鳴き真似をしたのかは、わからないそうです。



Lesson20

海藻のはなし

今日の例文

- ① アトゥイ オレン パイエアン ノ。 海へ行きましょう。
atuy or en paye=an no.
- ② エ！ はーい！
e!
- ③ ピシ タ ポンコンプ アン。 浜にポンコンプがあるよ。
pis ta ponkonpu an.
- ④ ウォコム カ アン ナンコロ。 ワカメもあるだろう。
wokom ka an nankor.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
アトゥイ	atuy	海
オロ	or	～のところ
エン	en	～へ
パイェ	paye	行く (自動詞：複)
アン	=an	私たち (が、の)
ノ	no	～しましょう
エ	e	はい
ピシ	pis	浜辺、海辺
タ	ta	～に
ポンコンプ	ponkonpu	小さい昆布のような海藻
アン	an	ある、いる (自動詞：単)
ウォコム	wokom	ワカメ
カ	ka	も
ナンコロ	nankor	～だろう

解説

「どこそこへ」という時には名詞の後ろに【エン / en】(～へ)、「どこそこで」とか「どこそこに」という時には【タ / ta】(～に、～で)を置いて表します。これらは格助詞と呼ばれます。一見日本語の「で」とか「に」のような格助詞と同じもののように見えますが、ちょっと違いがあります。例えば、【アトゥイ オレン / atuy or en】の「アトゥイ」は「海」という意味ですので、「海へ」と言いたいときには「アトゥイ エン」でいいような気がしますが、このようには言えません。「アトゥイ」と「エン」の間には必ずオロ「～のところ」のような位置名詞というものを挟まなければならないのです。この位置名詞には他に【カ / ka】(～の上)や、【サム / sam】(～のそば)といったいろいろなものがありますが、おもに位置関係を表わす特別な名詞です。

実は、アイヌ語では場所と場所でないものをはっきり区別して、場所でないものには「エン」とか「タ」のような、場所を表わす格助詞は直接つけられないのです。そして、アトゥイ「海」は場所ではない(!)ので、「エン」などをつけるためには、「アトゥイ」を場所にするために「オロ」などの位置名詞を後ろに置かなければならないのです。「オロ」は「エン」が後ろにくると、ひとつの単語のようになって「オレン」と発音されます。また、後ろに「タ」が来ると、形が変わって「オッタ」と発音されます。

一方【ピシ / pis】の後ろには、直接「タ」がついています。実は「ピシ」はそれ自身が場所を表しているので、「オロ」などの位置名詞は必要ないのです。というか、ピシ オッタのよう言うことはできません。このように、アイヌ語では場所と場所でないものを文法的に区別しますが、日本語の訳からはわからないことも多いので、どの言葉が場所を表わすのかは、ひとつひとつ覚えていかなければなりません。

ポンコンプというものは、小さい昆布のような海藻で、2月から3月の寒い時期に採取するそうです。ポンコンプはアイヌ語で【ポン / pon】(小さい)【コンプ / kompu】(昆布)という意味で、正式な名前は、ヘラリュウモンといいます。様似の人たちは、「アカハタ」「ヨメナ」「ヨメサン」「ベロベロ」などと呼んでいるそうです。

コラム ～海藻のはなし～

様似には、たくさんのお土産があります。今回のレッスンで紹介したポンコンプも一度だけ食べたことがあります。味噌汁に入れて食べました。他にも、【ウォコム / wokom】(ワカメ)を使ったアイヌ料理、【ヤマウ / yamaw】<【ヤム / yam】(冷たい)【オハウ / ohaw】(汁物)を熊谷カネさんと作りました。

アイヌ民族文化財団のYouTubeに作り方動画がアップされているので、ご覧ください。



Lesson21

8月の復習

Lesson18の例文

- ① タント シト アンカン ノ。 今日はシトを作りましょう。
tanto sito an=kar no.
- ② ピリカ ワ。 いいね。
pirka wa.
- ③ ポロンノ スイエ チク ピリカ。 たくさんゆでなさい。
poronno suye cik pirka.
- ④ ウトゥラノ シト アンエ ノ。 一緒にシトを食べましょう。
uturano sito an=e no.

Lesson19の例文

- ① トペンペ ヘンネ クエ。 私はお菓子を食べません。
topenpe henne ku=e.
- ② トペンペ クエ カ ヘンネ キ。 私はお菓子を食べません。
topenpe ku=e ka henne ki.
- ③ トノト ヘンネ エク コ ピリカ。 君はお酒を飲まなければよかった。
tonoto henne e=ku ko pirka.
- ④ トノト エク カ ヘンネ キ ヤ? 君はお酒を飲みませんか?
tonoto e=ku ka henne ki ya?

Lesson20の例文

- ① アトゥイ オレン パイエアン ノ。 海へ行きましょう。
atuy or en paye=an no.
- ② エ! はーい!
e!
- ③ ピシ タ ポンコンプ アン。 浜にポンコンプがあるよ。
pis ta ponkonpu an.
- ④ ウオコム カ アン ナンコロ。 ワカメもあるだろう。
wokom ka an nankor.

Lesson18の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
タント	tanto 今日
シト	sito シト (団子)
アン	an= 私たち (が、の)
カラ (>カン)	kar ~を作る (他動詞)
ノ	no ~しよう
ピリカ	pirka 良い、美しい、素晴らしい (自動詞)
ワ	wa ~よ
ポロンノ	poronno たくさん
スイエ	suye ~を煮る、~をゆでる (他動詞)
チク	cik ~すれば
ウトゥラノ	uturano 一緒に
エ	e ~を食べる (他動詞)

Lesson19の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
トペンペ	topenpe お菓子
ヘンネ	henne ~ない (否定)
ク	ku= 私 (が、の)
エ	e ~を食べる (他動詞)
カ ヘンネ キ	ka henne ki ~ない (否定)
トノト	tonoto 酒
エ	e= あなた、君、お前 (が、の)
ク	ku ~を飲む (他動詞)
コ	ko ~すれば
ピリカ	pirka 良い (自動詞)
ヤ	ya ~か?

Lesson20の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
アトゥイ	atuy 海
オロ	or ~のところ
エン	en ~へ
パイエ	paye 行く (自動詞：複)
アン	=an 私たち (が、の)
ノ	no ~しましょう
エ	e はい
ピシ	pis 浜辺、海辺
タ	ta ~に
ポンコンプ	ponkonpu 小さい昆布のような海藻
アン	an ある、いる (自動詞：単)
ウオコム	wokom ワカメ
カ	ka も
ナンコロ	nankor ~だろう



Lesson22 所有の表現①

クテケへ、エテケへ
ku=tekehe, e=tekehe

今日の例文

- ① クテケへ。 私の手。
ku=tekehe.
- ② エパケへ。 あなたの頭。
e=pakehe.
- ③ エトゥフ。 彼、(彼女)の鼻。
etuhu.
- ④ エカシ ホニヒ。 おじいさんのお腹。
ekasi honihi.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku=	私 (が、の)
テケへ	tekehe	~の手
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
パケへ	pakehe	~の頭
エトゥフ	etuhu	~の鼻
エカシ	ekasi	おじいさん
ホニヒ	honihhi	~のお腹

解説

今回は、所有の表現を紹介しました。「私の手」や「あなたの手」という時には、【ク / ku=】(私の) や【エ / e=】(あなたの) という人称接辞を、【テケへ / tekehe】(手) という名詞の前につけます。レッスン 1 に出てきた【クレへ / ku=rehe】(私の名前) というのも同じ言い方で、「レへ」(名前) に「ク」がついて「私の名前」となっています。

今までに出てきた「クアン」(私がいる)、「エアン」(あなたがいる)、「クエク」(私が来た)、「エエク」(あなたが来た) のような言い方は、「アン」や「エク」といった動詞に人称接辞がついた形で、ここでは「ク」や「エ」を「私が」とか「あなたが」と訳していました。今回の「クテケへ」や「エパケへ」のように名詞に「ク」や「エ」がついた場合は、「私の」とか「あなたの」と訳しています。このように、アイヌ語の人称接辞は同じ形で動詞にも名詞にもつき、それによって訳も変わります。

実は、この「テケへ」とか【パケへ / pakehe】(頭) とか【エトゥフ / etuhu】(鼻) とか【ホニヒ / honihi】(お腹) という名詞は、誰それの手とか頭を指す言い方で、所属形と呼びます。誰のものでもない、ただ「手というもの」「頭というもの」を指す場合には、【テク / tek】(手)、【パケ / pake】(頭)、【エトゥ / etu】(鼻)、【ホン / hon】(お腹) のように言います。これを概念形と呼びます。

というわけで、「エトゥフ」に人称接辞がついていなくても、これは所属形ですので、ただの手のことではなく、「彼の / 彼女の手」、つまり誰のであるかわかっている人の手を指すことになります。「エカシ ホニヒ」のように、その前に他の名詞があれば、「おじいさんのお腹」のように、その前に来る名詞はその持ち主を指すことになります。

コラム ~川カジカ~

小さい時に父に川カジカの卵を食べさせてもらったことを最近思い出しました。
熊谷カネさんに川にある石の下に川カジカの卵がついていてその卵を食べていたと聞きました。それを私の父は食べさせてくれたのだと思います。



Lesson23 所有の表現②

クコロ アチャ、エコロ ハポ ku=kor aca, e=kor hapo

今日の例文

- ① クコロ アチャ。
ku=kor aca. 私のお父さん。
- ② エコロ ハポ。
e=kor hapo. あなたのお母さん。
- ③ クコロ エカシ。
ku=kor ekasi. 私のおじいさん。
- ④ エコロ フチ。
e=kor huci. あなたのおばあさん。

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku=	私 (が、の)
コロ	kor	~を持つ (他動詞)
アチャ	aca	父
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
ハポ	hapo	母
エカシ	ekasi	おじいさん
フチ	huci	おばあさん

解説

今回は親族名称の所有表現を紹介します。「私の父」や「私の母」などと言う場合には、前回の【クテケヘ / ku=tekehe】(私の手) や【クパケヘ / ku=pakehe】(私の頭) とは違って、【クコロ / ku=kor】とか【エコロ / e=kor】という言葉の前につけます。これは「コロ」(~を持つ) という動詞に人称接辞がついたもので、直訳すれば「私を持つ」ということとなりますが、これで「私の」という意味を表します。

このように、所有表現にはふたつの形があって、ひとつは「クテケヘ」「クパケヘ」のように、「誰その〇〇」という形(これを所属形と言います)に、「ク」や「エ」などの人称接辞をつけたもの。もうひとつが「クコロ アチャ」や「クコロ ハポ」のように、そのもの自体を表わす形(これを概念形と言います)に、クコロやエコロをつけたものです。これはどちらでもよいのではなく、どちらの形にするかは単語によって決まっています、入れ替えることは原則としてできません。

親族名称では【アチャ / aca】(お父さん)、【ハポ / hapo】(おかあさん)、【エカシ / ekasi】(おじいさん)、【フチ / huci】(おばあさん)、【アチャポ / acapo】(おじさん)、【ウナラペ / unarpe】(おばさん) といった目上の人に対しては、この「クコロ〇〇」という形を使います。

なお、この「クコロ」を使って「私の」を表わす親族名称は、相手に呼びかける場合には、「クコロ」を省いて「アチャ！」(おとうさん!) のように呼び掛けます。漫画『ゴールデンカムイ』のアシリパが、よくこう言ってお父さんに呼びかける場面がありますね。

コラム ~私のおじいちゃん~

私は、おじいちゃん子で、おじいちゃんはたくさん遊んでくれました。そんなおじいちゃん、昔フシコ民芸という民芸店をやっていました。今私も、芸家になるために修行中ですが、おじいちゃんが民芸店をやってると知らずに、芸家を志したので、おじいちゃん子の私は、おじいちゃんとの縁を感じています。



Lesson24

木彫りにつかう樹木のはなし①

今日の例文

- ① アチャ、ネフ エキ? お父さん、何してるの?
aca, nep e=ki?
- ② イタ クカラ カネ クアン。 お盆を作っているよ。
ita ku=kar kane ku=an.
- ③ ネコン アン チクニ アンエイワンケ ヤ? どんな木を使うの?
nekon an cikuni an=eivanke ya?
- ④ ネスコ ネ ヤッカイ ランコ ネ ヤッカイ クルミとかカツラとか使うよ。
アンエイワンケ。
nesko ne yakkay ranko ne yakkay
an=eivanke.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
アチャ	aca	お父さん
ネフ	nep	何
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
キ	ki	～する (他動詞)
ク	ku=	私 (が、の)
カラ	kar	～を作る
カネ	kane	～して
アン	an	ある、いる (自動詞：単)
ネコン	nekon	どのような、どのように
チクニ	cikuni	木
アン	an=	私たち (が、の)
エイワンケ	eivanke	～を使う (他動詞)

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ヤ	ya	～か?
ネスコ	nesko	クルミの木
ネ ヤッカイ	ne yakkay	～とか
ランコ	ranko	カツラ

解説

「イタ クカラ カネ クアン」(私はお盆を作っているよ) という文にある、【カネ アン / kane an】(～している) というのは、動作が継続している最中、つまり「～しているところ」を表す言い方です。日本語では「私が作っている」という時に、「私が作って、私がいる」とは言いませんが、アイヌ語では「作る」の「カラ」にも、「いる」の「アン」にも「ク」(私が)をつけて、「クカラカネ クアン」のように言わなければいけません。「作る」のも、そこに「いる」のも私だからです。「クカラ カネ アン」と言うと、「アン」(いる、ある) のは私ではなくて、作られている「物」を指すことになるので、「私が作ってある」というような意味になると思います。ここがアイヌ語と日本語の違うところですので、気をつけましょう。

【ネコン / nekon】は「どのように」とたずねる時の言葉で、「どのような」と訊く時には、【ネコン アン / nekon an】(どのように・ある)と言います。「ネコン アン チクニ」は、「どのように・ある・木」ということで、「どんな木?」という意味になります。その他、「あなたは何歳?」と訊くときにも、【エパハ ネコン アン? / e=paha nekon an?】(あなたの年は・どのように・ある?) などと言います。

今回は、木彫りにつかう樹木を紹介しました。イタ(お盆)は、平たい形状のお盆で、表面に思い思いの文様を施していきます。

使用する材は、【ネスコ / nesko】(クルミ)、【ランコ / ranko】(カツラ)、【プシニ / pusni】(ホウノキ)、【ニペシニ / nipesni】(シナ)などを使います。



コラム ～二風谷イタ～

私が普段活動している、平取町二風谷は工芸が盛んなところです。2013年に経済産業省から「二風谷アットゥシ」と「二風谷イタ」が伝統的工芸品に指定されました。二風谷イタはラムラムノカというウロコ彫りが全体に施してあるというのが、特徴のひとつです。このような技術を継承するために日々活動しています。



Lesson25

木彫りにつかう樹木のはなし②

今日の例文

- ① クユポホ、ネフ エカラ カネ エアン? 兄さん、何を作っているの?
ku=yupoho, nep e=kar kane e=an?
- ② メノコマキリ クカン ルウェ ネ。 女性用のマキリを作っているんだよ。
menokomakiri ku=kar ruwe ne.
- ③ ネ マキリ クエラマスイ メノコ クコレ。 そのマキリを好きな女の子へあげるよ。
ne makiri ku=eramasuy menoko ku=kore.
- ④ オハイネ、アリキキヤン。 なるほど、頑張ってるね。
ohayne, arikiki yan.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku=	私 (が、の)
ユポホ	yupoho	お兄さん
ネフ	nep	何
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
カラ (>カン)	kar	~を作る (他動詞)
カネ	kane	~して
アン	an	ある、いる (自動詞: 単)
メノコマキリ	menokomakiri	女性用小刀
ルウェ ネ	ruwe ne	~のだ
ネ	ne	その
エラマスイ	eramasuy	~が好き (他動詞)
メノコ	menoko	女性
コレ	kore	~に~を与える (複他動詞)
オハイネ	ohayne	なるほど
アリキキ	arikiki	頑張る (自動詞)
ヤン	yan	~してください

解説

今回も、前回に引き続き木彫りにつかう樹木の話として例文を作りました。前は目上に対する親族名称の話で、「私の父親」という時には「クコロ アチャ」という、コロ+概念形の形になるとお話しましたが、兄弟姉妹となると、目上か目下かというのが微妙で、ちょっと複雑であるようです。岡本ユミさんの説明では次のようになるそうです。

- 「私の兄さん」ー【クユポホ / ku=yupoho】
- 「私の姉さん」ー【クコツ サポ / ku=kot sapo <クコロ サポ / ku=kor sapo】
- 「私の弟」ー【クコロ アキ / ku=kor aki】
- 「私の妹」ー【クトゥレシ / ku=turesi】

コロを使う形と、ク+所属形の形が入り乱れていて、どういうルールになっているのかわかりにくいですが、考えてみれば日本語で自分の家族をどう呼ぶかというのも、家ごとに違うのが普通で、父親を呼ぶのに「お父さん」という家もあれば、「パパ」とか「おやじ」とか言う家もあるでしょう。だから、これは岡本家での呼び方がこうだったということだと考えれば良いと思います。

【コレ / kore】という動詞は、【~に~を与える】という、目的語をふたつとる複他動詞というものです。アイヌ語では「が」「を」「に」にあたるものを何もつけないことによって、主語や目的語を表します。つまり、日本語では「女の子にあげる」のように、あげる相手には「に」が必要ですが、【エウン / eun】「~に、~へ」を使って、「メノコ エウン コレ」とは言いません。というか「エウン」をつけてはいけません。「ネ マキリ メノコ コレ」と言っても、「メノコネ マキリ コレ」と順番を変えても意味は同じで、「そのマキリを女の子にあげた」ということになります。「女の子をマキリにあげた」という意味にはなりません。

マキリは、アイヌにとって欠かせない民具のひとつで、マキリ一本で獲物を捌いたり、料理をしたり、彫刻をしたりと、一本でなんでもしていました。メノコマキリは女性用の小さめのマキリです。男性が意中の女性のために丹精込めて作り、それをプレゼントして女性は、腰から下げるとプロポーズ成功となります。女性はマキリの文様の出来栄を見て、生活力を見極めていたそうです。

マキリに使う材は、【トペニ / topeni】(イタヤカエデ)、【チクペニ / cikupeni】(エンジュ)、【ネシコ / nesko】(クルミ) など比較的硬い木で作ります。



コラム ~アイヌ工芸品コンテスト~

アイヌ工芸のコンテストは、年に2回あります。昨年私は初めてアイヌ民族文化財団主催の工芸品コンテストにマキリを作って、出品しました。結果は奨励賞でした。2つ目のコンテストは、北海道アイヌ協会が主催するアイヌ伝統工芸展に子持ち盆を作りました。結果は、最優秀賞をいただきました。子持ち盆は、二風谷で展示しているので、ぜひ見に来てください。



Lesson26

9月の復習

Lesson22の例文

- | | | | |
|-----------------------|--------|-----------------------------|-----------|
| ① クテケへ。
ku=tekehe. | 私の手。 | ③ エトゥフ。
etuhu. | 彼、(彼女)の鼻。 |
| ② エパケへ。
e=pakehe. | あなたの頭。 | ④ エカシ ホニヒ。
ekasi honihi. | おじいさんのお腹。 |

Lesson23の例文

- | | | | |
|---------------------------|-----------|-----------------------------|------------|
| ① クコロ アチャ。
ku=kor aca. | 私のお父さん。 | ③ クコロ エカシ。
ku=kor ekasi. | 私のおじいさん。 |
| ② エコロ ハポ。
e=kor hapo. | あなたのお母さん。 | ④ エコロ フチ。
e=kor huci. | あなたのおばあさん。 |

Lesson24の例文

- | | |
|---|----------------|
| ① アチャ、ネフ エキ?
aca, nep e=ki? | お父さん、何してるの? |
| ② イタ クカラ カネ クアン。
ita ku=kar kane ku=an. | お盆を作っているよ。 |
| ③ ネコン アン チクニ アンエイワンケ ヤ?
nekon an cikuni an=eivanke ya? | どんな木を使うの? |
| ④ ネスコ ネ ヤッカイ ランコ ネ ヤッカイ
アンエイワンケ。
nesko ne yakkay ranko ne yakkay
an=eivanke. | クルミとかカツラとか使うよ。 |

Lesson25の例文

- | | |
|--|--------------------|
| ① クユポホ、ネフ エカラ カネ エアン?
ku=yupoho, nep e=kar kane e=an? | 兄さん、何を作っているの? |
| ② メノコマキリ クカン ルウェ ネ。
menokomakiri ku=kar ruwe ne. | 女性用のマキリを作っているんだよ。 |
| ③ ネ マキリ クエラマスイ メノコ クコレ。
ne makiri ku=eramasuy menoko ku=kore. | そのマキリを好きな女の子へあげるよ。 |
| ④ オハイネ、アリキキヤン。
ohayne, arikiki yan. | なるほど、頑張ってるね。 |

Lesson22の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku= 私(が、の)
テケへ	tekehe ~の手
エ	e= あなた、君、お前(が、の)
パケへ	pakehe ~の頭
エトゥフ	etuhu ~の鼻
エカシ	ekasi おじいさん
ホニヒ	honihi ~のお腹

Lesson23の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku= 私(が、の)
コロ	kor ~を持つ(他動詞)
アチャ	aca 父
エ	e= あなた、君、お前(が、の)
ハポ	hapo 母
エカシ	ekasi おじいさん
フチ	huci おばあさん

Lesson24の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
アチャ	aca お父さん
ネフ	nep 何
エ	e= あなた、君、お前(が、の)
キ	ki ~する(他動詞)
ク	ku= 私(が、の)
カラ	kar ~を作る
カネ	kane ~して
アン	an ある、いる(自動詞:単)
ネコン	nekon どのような、どのように
チクニ	cikuni 木
アン	an= 私たち(が、の)
エイワンケ	eivanke ~を使う(他動詞)
ヤ	ya ~か?
ネスコ	nesko クルミの木
ネ ヤッカイ	ne yakkay ~とか
ランコ	ranko カツラ

Lesson25の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku= 私(が、の)
ユポホ	yupoho お兄さん
ネフ	nep 何
エ	e= あなた、君、お前(が、の)
カラ (>カン)	kar ~を作る(他動詞)
カネ	kane ~して
アン	an ある、いる(自動詞:単)
メノコマキリ	menokomakiri 女性用小刀
ルウェ ネ	ruwe ne ~のだ
ネ	ne その
エラマスイ	eramasuy ~が好き(他動詞)
メノコ	menoko 女性
コレ	kore ~に~を与える(複他動詞)
オハイネ	ohayne なるほど
アリキキ	arikiki 頑張る(自動詞)
ヤン	yan ~してください

アイヌ語ラジオ講座 ポッドキャスト

- アイヌ語ラジオ講座では、これまで放送してきた音声とテキストをダウンロードして、いつでもどこでも気軽にお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちら

⇒ <https://www.stv.jp/radio/ainugo/index.html>

テキストはこちらからもダウンロードできます

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/radio.html

【 注 意 事 項 】

- 平成10年度～平成11年度 Vol.1-3の音声は公開されておられません。何卒ご了承ください。
- 当テキストデータ及び音声データについて、他のウェブサイトへアップロードする等の利用行為及び営利目的に関わるすべての行為はお控えください。
- 著作権等に関する法令に遵守し、適切な範囲での利用をお願いします。

アイヌ語ラジオ講座 ウェブアンケート

- アイヌ語ラジオ講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化にまつわるお話等を放送しております。この講座のあり方や放送内容などを検討していくにあたり、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。なお、いただいたご意見は番組制作の参考以外に利用しません。

アンケートはこちらから

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/web.html

- 「アイヌ語ラジオ講座 CD等の貸出」及び「郵送アンケート」の実施について令和5年3月31日を持ちまして終了しました。引き続き上記ポッドキャストやウェブアンケートを実施してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

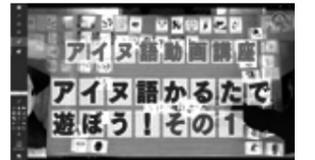
アイヌ民族文化財団 アイヌ語関連事業

- 公益財団法人アイヌ民族文化財団は、アイヌ語やアイヌ文化の振興を図る事業、アイヌの伝統等に関する普及啓発事業等を実施しています。

アイヌ語に関するコンテンツ

◆アイヌ語動画講座

多くの皆さんに「楽しみながらアイヌ語を学んでいただきたい」「もっとアイヌ文化のことを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、初心者向けのアイヌ語講座を動画で配信しています。



◆オルシペ・スウォプ

アイヌの口承文芸（お話など）の語り（アイヌ語と日本語訳）及び字幕（アイヌ語、日本語訳、多言語訳）をつけたアニメーション映像を公開しています。



◆アイヌ語弁論大会 イタカンロー

アイヌ語を学ぶ方々の成果発表の場であるとともに、ご来場いただいた方々を含め、「みなさんでアイヌ語を楽しみましょう」というコンセプトの大会です。大会の様子をおさめた動画が、アイヌ語ポータルサイト内にてご覧いただけます。

アイヌ語ポータルサイト

上記を含むさまざまなアイヌ語に関するコンテンツをまとめたサイトがあります。

詳しくはこちら

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html





ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館

体験型フィールドミュージアム

国立アイヌ民族博物館

見るだけでは終わらない
新しい発見がここにある。

国立民族共生公園

自然の中で培われてきた
先住民族アイヌの文化を五感で感じる。



アイヌ民族の視点で語る「6つのテーマ」に沿った展示等
多彩な展示方法でわかりやすく紹介します。



●私たちのことば
アイヌ語のしくみやアイヌ語由来の地名などについて、音声や映像を交えて紹介します。



●私たちの歴史
現代に続くアイヌの歴史のひろがりや連なりを視覚的にわかりやすく紹介します。



●私たちの世界
儀式に使われる道具などを通じて、カムイ(神)の考えかた、自然観などについて紹介します。



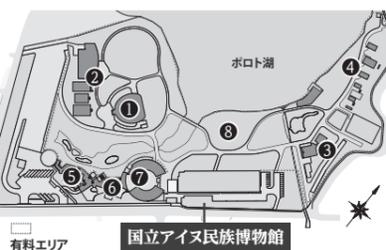
●私たちのしごと
狩猟、漁ろう、採集、農耕といった伝統的な生業のほか、現代のアイヌ民族の多様な仕事を紹介します。



●私たちの暮らし
衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を紹介します。



●私たちの交流
交易品を通して、様々な文化や民族との交流をたどっていくとともに、民族共生のありかたを伝えます。



●体験交流ホール
重要無形民俗文化財指定の「アイヌ古式舞踊」やムックリ演奏をはじめとして、ユネスコ無形文化遺産にも登録されているアイヌの伝統芸能を上演します。

●体験学習館
教育旅行等の体験活動や、楽器演奏の体験、調理体験等ができる施設です。

●工房
スタッフによる実演が行われ、長く受け継がれている技術を間近に見学できるほか、木彫や刺繍の体験もできます。

●いざないの回廊
●歓迎の広場
●エントランス棟
木々や動物が描かれた回廊を抜けると大きな広場がお迎え。北海道のお土産などが揃うショップ、アイヌの食文化を楽しめるレストランやフードコートもあります。

●伝統的コタン
アイヌの昔のチセ(家屋)が再現され、生活空間を体感できるエリアです。室内の見学のほか、アイヌの暮らしや文化について解説するプログラム等を実施します。

●チキサニ広場
伝統的な衣装や踊りで歓迎するおもてなしの広場です。アイヌ古式舞踊やムックリの演奏などの伝統芸能を楽しめます。



ウポポイPRキャラクター
トレッポん

■入場料

入場料	税込価格
大人(一般)	1,200円
大人(団体)	960円
高校生(一般)	600円
高校生(団体)	480円
中学生以下	無料

※団体(20名以上)

■所在地
〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
開園情報・最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。



公式ウェブサイト



公式Facebook

■アクセス



会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

当財団は国及び北海道からの財政的な支援をいただいで運営しておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

<年会費>

◆法人・団体／一口2万円 ◆個人／一口5千円 ※各一口以上です。

<会員の特典>

◆民族共生象徴空間(ウポポイ) 入場優待券を配布しております。

◆アイヌ民族文化財団発行の刊行物等の配布をしております。

(民族共生象徴空間運営事業の刊行物等は含まれません)

※入会には申込書が必要となりますので、希望される方は、アイヌ民族文化財団事務局(札幌)にお問い合わせ下さい。

申込書はホームページからもダウンロードできます。

https://www.ff-ainu.or.jp/web/overview/details/post_9.html



<会費の用途>

◆アイヌ文化の普及啓発、情報発信がより促進されるよう、自主事業の充実のために充てられます。

* 寄付金税額控除について

当財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

令和6年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.2

発行年月 令和6年6月

編集・発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団